

平成29年美濃加茂市議会第3回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質 問 要 旨
1	佐合広和 代表質問 新生会 (一括質疑)	<p>1 ふるさと納税について</p> <p>① 返礼品について、品物以外にシティプロモーションなどを取り入れた体験型の企画商品をもっと拡大してはいかがか。所見は</p> <p>② 定住自立圏構想を活用し、加茂郡の町村と連携して各地の特産品やイベント商品をまとめて対象品としてはいかがか。所見は</p> <p>2 災害時における流木対策について</p> <p>① 本年7月に発生した九州北部豪雨で災害を大きくした流木被害を教訓として、加茂地域においても広域的な流木対策が必要と考えるが具体的な取り組みへの所見は</p> <p>3 県道の樹木管理について</p> <p>① 市民生活に危険を及ぼすような状況を防止するために県とどのような連携体制がとられているのか、また、民地から県道にはみ出た樹木についての対策は</p> <p>4 保存樹等について</p> <p>① 良好な都市景観に寄与している樹木について、行政がもっと関わって行くことが郷土愛の醸成に繋がると考えるがその所見は</p> <p>5 災害時の後方支援について</p> <p>① 大規模自然災害対策として、他市町村と広域的に対応するための後方支援拠点市の検討が必要と考えるがその所見は</p> <p>6 美濃加茂メディカルシティ構想について</p> <p>① 加茂郡の町村へもこの構想への参画を働きかけることが必要と考えるがその所見は</p>
2	渡辺義昌 代表質問 創政会 (一問一答)	<p>1 美濃加茂市 まち・ひと・しごと創生総合戦略「Caminho(カミーノ)」について</p> <p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略カミーノ」について、国の事業を土台に、女性が活躍できるまちの実現を目指して、ライフスタイル、出会い・結婚、妊娠・出産、子育て、教育の各分野に関する取り組みを充実し、人口問題への対応を図ることが事業であるが、総合戦略としての事業のコンセプトや内容について</p> <p>① 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と本市の総合戦略カミーノの位置づけは</p> <p>② 女性に特化した総合戦略か</p> <p>③ カミーノ推進委員会や推進プロジェクト(プロジェクト名や参加者)、ワークショップなどの活動の内容、参加者は</p> <p>④ コンセプトを明確にし、カミーノについて市民や市外の方々に「美濃加茂市の地方創成はみんなで女性を応援しています」そんな印象を与えるべきではないか。市民の方に理解し応援いただくには必要だと思うがどうか</p> <p>⑤ これからの「カミーノ」の活動は</p> <p>2 新築移転する木沢記念病院社会医療法人厚生会について</p> <p>美濃加茂市長と厚生会の山田實紘理事長の記者発表の「美濃加茂メディカルシティ構想」と、木沢記念病院総合医療センター(仮称)について建設の計画、医療規模などについて</p> <p>① 広域医療及び地域活性化のための拠点となる施設とはどのような施設になると考えるか</p> <p>② 「美濃加茂メディカルシティ構想」とはどういったものか</p> <p>③ 市や近隣市町村と連携し医療福祉のまちづくりについての考えは</p> <p>3 美濃加茂市公共施設等総合管理計画について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	渡辺義昌 続き	<p>美濃加茂市公共施設等総合管理計画が発表されたが、本市は、新庁舎の建設や保育園老朽化、交流センターの老朽化、文化会館の耐震改修などハコモノと言われる公共施設の課題も多々ある。また、上下水道や道路、橋梁などインフラ施設の修繕や管理費用等財政面での課題もあると思う。発表になった美濃加茂市公共施設等総合管理計画について</p> <p>① この10年間で約109億円の市債残高を削減した。施設の老朽化を考えるとこのまま行けると思わないが、計画作成に当たって、市債の推移はどの様になると思われるか</p> <p>② 計画には具体的な期日予算などが表示されていないが、少なくとも優先すべき公共施設については、取り入れ計画すべきと考えるがいかか</p> <p>③ 将来の見通しとして、40年間平均で毎年36億円不足すると試算されている。単純には表せないと思うが、40年後の市債残高や対する収入の見込みはどの様になると思われる</p> <p>4 2020年オリンピック・パラリンピックに向けた対応について</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックのアスリート達に、事前トレーニングキャンプのオンラインガイドに美濃加茂市の「中央体育館プラザちゅうたい」が卓球のキャンプ地として登録されていた</p> <p>① 美濃加茂市が卓球のキャンプ地としてアピールしているが、卓球の候補地が50か所もあり難しさを感じた。何か策はあるか</p> <p>② 国際交流を行う絶好のチャンスでもあり、オリンピックに関連した事業やイベントの予定はあるか</p> <p>③ 日本が誇る世紀の大イベント。地方も何らかの形で参加したいもの。市の意向はあるか</p>
3	山田栄 代表質問 真摯会 (一問一答)	<p>1 防災対策について</p> <p>① 災害対策本部（会議室）のあり方</p> <p>I 専門職員常駐の考えは</p> <p>II 通信機器設置の考えは</p> <p>III 本部関係者の情報共有は</p> <p>② 7月14日の避難者への情報伝達は</p> <p>③ 气象台と当市の連携は</p> <p>④ 災害発生時における通常業務職員への業務指導は</p> <p>⑤ 8月7日の台風5号における学校、高齢者・障がい者等への対応状況、避難所施設の状況は</p> <p>2 教育について</p> <p>① ICT教育、プログラミング教育、英語教育に対する現況と今後の取り組みは</p> <p>② 小規模特認校施策の充実についての考えは</p> <p>3 公共施設等総合管理計画について</p> <p>① 新庁舎建設</p> <p>② 保育園整備</p> <p>③ 伊深連絡所・下米田連絡所・蜂屋連絡所等の改修</p> <p>④ 文化会館改修</p> <p>⑤ 西体育館に隣接する消防団詰所及び防災備品倉庫等の整備は</p>
4	日置祥子 代表質問 日本共産党 美濃加茂市議団 (一問一答)	<p>1 国民健康保険について</p> <p>① 国民健康保険の考え方・原理について市長の見解は</p> <p>② 過去5年間の国保加入世帯数・加入世帯率・滞納世帯数・滞納率は</p> <p>③ 収納率を上げるためにされている努力は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	日置祥子 続き	<p>④ 高すぎる国保料を下げるための具体的な市の対策は</p> <p>⑤ 8月に出された平成30年度に向けた第3回の試算結果は</p> <p>2 介護保険について</p> <p>① 高齢者・障がい者の両方に対応できる「共生型サービス」の創設について当市の対応は</p> <p>② 「介護医療院」について計画は</p> <p>③ 介護利用がサービスの「必要」に基くのではなく「負担能力」によって決まる現実についての認識は</p> <p>④ 介護従事者の処遇改善について対応策は</p> <p>3 敬老事業について</p> <p>① 増額の検討は</p> <p>4 学校給食について</p> <p>① 平成29年第2回定例会の市長の答弁の「困って見える方々にはしっかりとサポートしていくという体制」の「困っている方々」とはどのような対象か。どのようなサポートか</p> <p>② 無料化について市内では今までにどのような検討がされてきたのか</p> <p>5 高校までの医療費無料化について</p> <p>① 実現の方向性は</p> <p>6 就学援助施策について</p> <p>① 要保護者について新生生の「入学準備金」の入学前の支給と増額の実施計画は</p> <p>② 要保護者同様に準要保護者の実施は</p> <p>③ 準要保護者の対象拡大は</p> <p>④ 就学援助制度の見直しの具体的な内容は</p> <p>7 防災ラジオの全戸設置について</p> <p>① 防災のための防災ラジオを計画的に全戸に設置することは</p>
5	村瀬正樹 新生会 (一問一答)	<p>1 あい愛バスの新運行改善点について 試験運行をふまえた新運行の改善点を伺う</p> <p>① 1日の運行本数と始発最終の時刻</p> <p>② 通学、通院、買い物利用者への配慮</p> <p>③ 運賃と割引</p> <p>④ 停留所の位置と手あげストップ</p> <p>2 豪雨災害の事後対応について 7月14日のゲリラ豪雨による災害の応急処置とその後の事後対応について伺う。この機会に多く対応処置すべきではないか</p> <p>① 応急処置の仕方</p> <p>② 2次災害を防ぐための対応（がけくずれ）</p> <p>③ 随時要望や電話依頼への対応（側溝、川からの浸水）</p> <p>3 障がい者雇用について 全国的にみられる就労継続支援A型事業所の廃止や改定される障がい者の法定雇用率の上昇の点から市内の実情と対策を伺う</p> <p>① 市内の事業所の実態</p> <p>② 雇用率の実態と維持向上への取組み</p> <p>4 動物クリニックの夜間休日診療体制について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	村瀬正樹 続き	<p>① 市民の休日急患診療や夜間の救急診療体制、休日急患歯科診療体制或いは病院群輪番制などが確立されている。ペット、小動物についてはこれらの制度がどうなっているのか伺う。加えて、定住にてこの制度を作ることはできないか</p> <p>5 中小河川の水質検査について ホタル復活にむけて河川の水質検査を厳しくできないか</p> <p>① 現在の検査の目的と結果への対応</p> <p>② 水質向上のための検査の変更（方法、測定点の増加）はできないか</p>
6	渡辺孝男 真摯会 (一問一答)	<p>1 災害対策基本法における避難場所の分類について</p> <p>① 「災害対策基本法」で公域避難場所・一時避難所・収容避難所と分類をされているが本市の状況はどの様になっているか。また、各地区の状況は</p> <p>2 美濃加茂市ハザードマップの避難場所掲載について</p> <p>① 本市のハザードマップに大規模な災害により周囲が火災等に包まれても安全な場所（避難場所）の記載がないがなぜか</p> <p>3 避難所の暑さ、寒さ対策について</p> <p>① 暑さ対策等環境が整っている避難所は、現在何カ所か</p> <p>② 既存の避難所の環境対策計画及び他市町村の状況は</p> <p>③ 計画している西体育館も避難所に指定をされているが、暑さ等環境対策が十分盛り込まれていないと思われる。設備の計画を見直す考えは</p> <p>4 避難所の対応人員について</p> <p>① 8月7日の台風5号の接近により、避難所が開設をされ対応をされたが、施設によっては、職員が1人である為、電話対応や避難者対応等で人員不足であったと感じた。現在、対応人員等の基準はあるか。また、今回の結果から今後増員する計画はあるか</p> <p>5 避難所のWi-Fi等通信整備について</p> <p>① 避難をされた方は避難所で色々な情報を得る手段としてWi-Fi等を使い情報収集、発信等を行っている事が報道されている。本市の避難所は整備されているか</p> <p>6 市保有の携帯電話の利用状況について</p> <p>① 市で保有の携帯電話はどの部署に何台貸与し、管理方法はどの様になっているか</p> <p>② 外出が多い部署、連絡所等の職員は、庁外から業務に関する連絡をする時、個人の電話を使用していると思われるが、市保有の端末を貸与する考えはあるか</p> <p>7 雨水対策工事の効果確認について</p> <p>① 多額の補助金等で雨水対策を実施した西中、東総合グラウンド等の効果は実際に雨が降らないと確認できない。今回7月14日に時間雨量89mmの集中豪雨があったが、その効果は確認できたのか</p> <p>8 市道に取り付けてあるカーブミラー標識等設置基準について</p> <p>① 市道に設置してあるミラー、標識等の設置位置が悪く市道の幅員を狭くし危険個所もあるが市としての設置基準はあるか</p> <p>② 公安委員会等が取り付けるミラー、標識等があるが設置許可はどの様に許可されているか</p>
7	渡辺益巳 創政会 (一問一答)	<p>1 高齢ドライバーの交通事故について</p> <p>① 平成29年1月から8月までの当市の高齢ドライバーが絡む交通事故件数は何件か、また75歳以上の方の運転免許証の保有者数と保有率、全体に占める割合は</p> <p>② 改正道路交通法が施行され、認知症と判断されれば免許証を返納することになる。運転免許証の自主返納と返納を促す取り組みは</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	渡辺益巳 続き	<p>③ 高齢者先進安全自動車購入補助制度について、現在の購入補助制度対象件数と広報方法の見解は</p> <p>2 高齢化社会の対応について</p> <p>① 各地域包括支援センターは、第7期では各センターとも委託方式になる見込みであり、市の責務として業務の均一化は当然である。事業拡大の見直しや運営方針においても連携した業務が求められる。各センターの評価の確認を定期的な実施、その運営状況に関する結果をどのように公表するのか</p> <p>② 8050問題については、親に支えてもらい病気や要介護の状況になっても誰にも相談できず孤立無縁になることが想定される。親が亡くなった後、子の自立に向けた支援が必要である地域包括支援センターはどう対応するのか</p> <p>③ 高齢者には、生活意欲の衰えから身の回りのことができなくなるセルフネグレクト（自己放任）でゴミ出しや買い物ができなくなる人が増加すると予想されている。現在では食品の宅配サービスも充実してきたが利用が容易でない。一人暮らし高齢者の孤立死防止の観点からどのように地域包括支援センターは対応するのか</p> <p>3 環境まちづくりプランについて</p> <p>① 過去3年間の家庭生ゴミの排出量は予想に反して減量の傾向となっている。この事実をどのように分析するか。市民に告知し更なる減量化に努め、今後も継続しこの状況が維持できるのか</p> <p>② 家庭廃棄物処理機、堆肥化容器の普及と補助金の活用状況は。ダンボールコーンの作り方講習会など開催されているが、市民の皆様の参加状況は</p> <p>③ 「環境にやさしい暮らし方を進める」ため自然環境の保全・循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築が示された。循環型社会の形成は喫緊の課題であり、食品ロスを削減することにより、二酸化炭素排出量の減少、無駄な支出を減らし経済効果、食品が不足し、飢餓に苦しむ子どもたちを救うことになる。本市において、食品ロスの問題に対しどのように対応するのか見解は</p> <p>4 公共交通政策について</p> <p>① あい愛バス停は今までの立看板だけか、土地スペースの問題もあるが、ベンチを設置する考えはないか</p> <p>② 試験運行中の市民から提案された要望事項は、美濃太田駅からの乗り継ぎの問題は</p> <p>I バス停留所の標識は変更するのか</p> <p>II 試験運行中の乗客人数は何人か</p> <p>③ (株)岐阜バスの中型1台、(株)新太田タクシー7台（予備1台）の使用車両の償却方法はどのように見解は</p> <p>④ 今後、コミュニティバスの市民サービスの拡大についてはどのような考えか</p>
8	前田孝 日本共産党 美濃加茂市議団 (一問一答)	<p>1 社会医療法人厚生会病院建設について</p> <p>① 市有財産売買契約書締結に基づく土地取引は完了したか（契約書第4～7条についての詳細）</p> <p>② 美濃加茂メディカルシティ構想について具体的にはどのような構想か</p> <p>③ 市長は共同会見で、医療をキーワードにした地域活性化につながる取り組みをすると会見しているがどのような取り組みか</p> <p>④ 新病院建設について病院の位置や道路（出入り口）などの構図は提供が有るのか</p> <p>⑤ 病院建設に伴い周辺地域の交通量が増加が予想されるが道路整備や交通安全について検討されているか又地元の方々はそのことについて説明会などをする計画はあるのか</p> <p>⑥ 補助金の申し出はあるのか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	前田孝 続き	<p>2 7・14豪雨及び台風5号の災害状況と防災について</p> <p>① 道路・河川・農地等の災害件数</p> <p>② 地域別被害件数</p> <p>③ 避難人数・避難所開設数（7・14及び台風5号）</p> <p>④ 第1次避難所施設9ヶ所あるが台風5号の避難所についてあじさいエコパークと牧野交流センターがなく生涯センターと福祉会館になっていたがその理由は</p> <p>⑤ 避難センターの防災用品として食糧・飲料水・毛布などが常備してないセンターが有るが常備すべきではないか</p> <p>3 立木植え込み等の管理及び安全対策について</p> <p>① 立木植え込み等に関する市民からの苦情相談件数は</p> <p>② 立木植え込みの繁茂にともなう道路はみだしについて通行の障害になるケースが有るがその安全対策についてはどの様に対処しているか</p>
9	金井文敏 市議会公明党 (一問一答)	<p>1 健康増進施策の構築について</p> <p>① 生活習慣病の予防の効果がありメンタルヘルスや生活の質の改善にも効果をもたらす、歩行を中心とした身体活動の有効性についての考えは</p> <p>② 厚労省は年代別で男女の歩数目標を立てている。目標を達成するにはゲーム性のあるプログラムなど継続させる支援が必要である。目標歩数についての考えは</p> <p>③ 同省はインセンティブ事業の指針も作成している。インセンティブ事業（ウォーキングポイント制度）についての考えは</p> <p>2 災害時の業務の適正を確保するための体制について</p> <p>① 業務の有効性および効率性の設定。また、管理職・職員等に対して責任に見合った限度で権限の委譲等。役割分担・行動指針についての考えは</p> <p>② 業務、役職に応じて、職務の分掌および権限・職責の分担等を適切に図る。ルール遵守についての考えは</p> <p>3 局所的大雨の対策について</p> <p>① 高齢者等が避難を開始することを明確にするなどの理由から避難情報の名称が変更になった。避難勧告に関するガイドラインの改定（平成29年1月31日）についての考えは</p> <p>② 発生した場合、自分の居る場所がどのような災害や事故が起こりうるか前もって知っておくことが重要である。局所的大雨と集中豪雨の特徴と傾向についての考えは</p> <p>③ 市内でも地区によって降り方が違う。ネットに接続しモニタリングしハザードマップとあわせていざという時に役立てる。雨量計の設置についての考えは</p>
10	牧田秀憲 真摯会 (一問一答)	<p>1 民生委員・児童委員について</p> <p>① 全国的に60代以上が8割を占めるなど委員の高齢化は深刻である。制度を存続させるため、後継者をどのように確保しているか</p> <p>② 地域によって慰問や見守りの内容の偏り負担の平等がない状況であるがどのように考えているか</p> <p>③ 見守りや生活相談など委員の負担は大変である、負担を減らす必要性など具体的な案はあるのか</p> <p>④ 緊急時用の災害弱者の情報共有はどの様になされているのか</p> <p>2 主任児童委員について</p> <p>① 各地域で業務内容の差があると聞いたが、どの様な差があるのか</p> <p>3 介護予防・日常生活支援総合事業について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	牧田秀憲 続き	① 地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業について、当市の現状はどの様になっているのか ② 住民主体型訪問サービスについて、当市の取り組みは
11	酒向信幸 創政会 (一問一答)	1 鳥獣被害対策について ① 近年、被害額が増加傾向にある本市であるが、県内では取り組みが成功し、被害額が減少傾向にある市町村もある。今後の本市が取り組んでいくべき課題は何か ② 国は鳥獣被害対策の取り組みを総合的かつ効果的に推進するため、鳥獣被害防止総合対策交付金により市町村が作成した被害防止計画に基づく地域ぐるみの総合的な取り組みを支援している。本市のハード面、ソフト面において今後、新たな展開や強化すべきことは何か ③ 有害鳥獣の捕獲数が年々増加している中、今後は処分の方法の一つに焼却施設建設も考えられるが、広域連携(加茂郡)で取り組む考えは ④ 捕獲後の処理は地中への埋設や焼却、専門業者に委託とあるが、体力的な問題や環境汚染が懸念される中、有害鳥獣最終処理システムの調査・研究から導入の考えは ⑤ ジビエが第4の食肉と普及すれば、新たなビジネスに繋がる可能性もある。地域の雇用増加や特産品、観光資源、新たな食文化の創出が期待でき地域の活性化につながるが、どう考えているか ⑥ 今年度予算化されている鳥獣被害対策実施隊の活動内容と効果、ドローンでの調査の進捗状況は ⑦ 今後の鳥獣被害対策を強化するにあたり、調査・研究し新たな事業を展開していくためには、担当部署に専門課が必要と思われるが、設置する考えはあるか 2 小規模特認校について ① 平成29年度4月より制度開始となり、伊深小・三和小学校に各1名が通学しているが、この1学期の様子はどうであったか ② 来年度に向けて6月より紹介チラシ・ポスターの掲示や全体説明会の開催案内文書の配布、市広報誌・ホームページにも掲載もされたが、反応はどのようなものがあつたか。また、今後の取り組みについてはどのように考えているか
12	柘植宏一 新流 (一問一答)	1 新庁舎建設および公共施設の総合管理について ① 新庁舎建設について I 第4回新庁舎整備基本構想策定委員会について II PFIによる庁舎建設について III 庁舎建設候補地から中部台が外された理由について ② 下古井交流センター及び古井第2保育園について ③ 総合福祉会館の利用拡大について 2 観光及び交流人口の拡大について ① 近隣自治体との連携について I 可児市美濃加茂市合同花火大会の可能性は II 勝山、栗栖間の吊り橋構想は III 鬼飛山、納古山の登山道整備等は IV 可児市木曾川左岸かわまちづくりについて ② 中之島公園指定管理について

No.	議員名	質 問 要 旨
13	高井厚 新生会 (一問一答)	<p>1 新国道248号線の有効利用について</p> <p>大針で坂祝バイパスと接続したものの、岐阜や関方面から東に向かう自動車は、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯の込み合いは相変わらずの感じである。抜け道利用による重大な事故は起きていないが、安全確保に向け、気は抜けない。</p> <p>① 稲辺地区内の交差点改良工事では、どのような問題点が解消されるのか</p> <p>② 坂祝バイパスが大針で接続されたことで、自動車の動きはどう変わってきているのか。西行きと東行きで伺う</p> <p>③ 太田バイパスの2車線化が望む声は今も高い。県や国への働きかけの状況、実現の見通しを伺う</p> <p>④ 市の活性化に向け、「道の駅」を設置する動きは、以降でできているか</p> <p>⑤ 市道「若宮加茂野線」(旧248号線)は、国道から市道へと変わったが、県道にすることは叶わなかったのか</p> <p>2 農業・優良農地の維持・向上について</p> <p>農業と言えば米作りが軸となるが、その将来に不安を抱く人は少なくない。先ずは担い手問題である。後継者がなく、耕作を断念する人や知り合い、団体・企業に委ねる人が出ている。耕作放棄地は荒れていくか転用に向かう。畑も大切な農地である。管理面で言うと、その状況の悪さは田以上かもしれない。作物を作らない畑が多くあり、繁茂する草をトラクターが巻き込んでいく。一歩進んだ行政の働きかけがなされることを願う。</p> <p>① 市内の農地の面積を10年前と比べて伺う(田畑別に)</p> <p>② 米の作付面積は現状どうなっているか</p> <p>③ 米作りを自分でやっている面積、他に委ねている面積を伺う</p> <p>④ 米作り、畑作物づくりの問題点を市はどう把握しているか</p> <p>⑤ 集落営農組織作りの動きは本市にあるか</p> <p>⑥ 多面的機能支払交付金に、市単独での上乗せの考えは</p> <p>3 これからのまちづくり協議会について</p> <p>本市は平成29年度にまちづくり課を新設し、美濃加茂市版地方創生にアクセラが踏み込まれたものと考えている。前市長の願いに沿って、早く全地区に協議会が立ち上がることを期待している。</p> <p>① 新設されたまちづくり課のもと、8地区全部の立ち上げに向けた動きは</p> <p>② 立ち上げが完了した5地区の活動の課題を、市としてどう捉えているか</p> <p>③ まちづくり協議会設置を促進すべく、条例を作成する考えは</p> <p>4 通学区域の経過措置について</p> <p>来年度に向け見直しの最中だと思われる。市内の中学校規模適正化のために、平成25年4月に西中学校と東中学校、26年4月に西中学校と双葉中学校の通学区域の変更が行われた。その際の経過措置が、前者は通学距離、後者は部活動例外措置であった。</p> <p>① 通学区域審議会には、いつ頃、どんな提案を市教育委員会として示していくのか</p>
14	片桐美良 新生会 (一問一答)	<p>1 新庁舎について</p> <p>① ワークショップ・基本構想委員会で集約型・分散型議論はなされているか</p> <p>② 建設用地について</p> <p>I 用地取得費は</p> <p>II 厚生会に売却済みの土地は、建設用地候補として考えられないのか</p> <p>2 あい愛バス事業について</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	片桐美良 続き	① 試験運行での課題・改善点はあったか ② 新しいバス停留所・フリー区間の周知は ③ 地域あい愛バスを育む会について ④ 利用増進対策は ⑤ 来年度以降の歳出予算見通しは 3 食のブランド事業について ① 事業推進の現状と課題は ② スイーツのまち構想
15	坂井知足 創政会 (一問一答)	1 大雨・台風災害防止対策について ① 災害対策本部等の設置と任務 大雨や台風等により災害が発生する恐れがある時、また、災害が発生した時、警戒本部や対策本部が設置されるが、その設置基準と人員、任務等防災体制は ② 避難準備情報・避難勧告等の発令 災害により生命、身体に危険が及ぶ恐れがある時、避難準備情報や避難勧告、避難指示が発令されるが、勧告・指示の発令基準と周知等は ③ 避難所の開設 避難所の開設時期と場所（地区）、避難の方法、備品の整備等は ④ タイムラインの策定 タイムライン（事前防災行動計画）とは、予め発生が予測される災害に対して、数日前から各機関が連携し防災計画を進めるもので、これに対する本市の取り組みは 2 本市農業の振興について ① 集落営農の促進と企業参入 農業後継者（担い手）が不足する中で、これからの農業経営の一つとして集落営農があるが、本市の集落営農の現状と法人化等について。また、近年の企業の農業への参入は ② 耕作放棄地の減少と再利用 農業就業者の減少と農業従事者の高齢化により、耕作放棄地は増加している。本市の現状と農業委員会による再利用や減少対策について。また、農地中間管理機構の活用は ③ 「みのかもファーマーズ倶楽部」の活躍 農業の担い手が不足する中で、「美濃加茂市の農業を元気に」をスローガンに、若手の農業後継者が集まり、「みのかもファーマーズ倶楽部」が設立され活躍している。メンバーの職種と活動内容は ④ 農・福（農業と福祉）連携の推進 近年、障がい者は農業における貴重な担い手として期待されている。そして農林業への障がい者の雇用は増加している。本市の雇用の現状と今後の取り組みは 3 空き家対策の推進について ① 「空き家等対策計画」の推進 今年6月に「美濃加茂市空き家等対策計画」が策定されているが、この策定による本市の空き家対策等の今後の取り組みは ② 「空き家バンク」の創設と運用 本市の「空き家バンク」創設に向けての取り組みと、この創設による空き家活用への期待等は